

南伊勢町新型コロナウイルス感染症対策事業 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関係) 9月補正予算計上分

総事業費 3億1,062万5千円

うち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2億2,143万8千円

1. 感染拡大の防止と医療提供体制の整備

(ア)マスク・消毒液等の確保

【新規】 ①分散庁舎等整備事業（総務課）	4,968万4千円
<p>三密をさげ、来庁者との接触機会や職員同士の接触機会削減を図り、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備えるとともに、本庁舎等で感染者が発生し、本庁舎が利用できない場合には代替庁舎として利用することを目的に分散庁舎を整備する。</p> <p>（内訳）職員用デスク飛沫防止対策用品103万9千円、分散庁舎電話回線等修繕工事：186万7千円、分散庁舎LAN敷設・警備システム導入経費：319万4千円、ビジネスホンサポート・複合機使用料：24万1千円、分散庁舎改修工事：3,164万2千円、分散庁舎備品（プリンター、職員用デスク、内部情報機器等）1,170万1千円</p>	
【新規】 ②避難所感染症防止対策用品整備事業（防災安全課）	1,427万8千円
<p>災害時の感染症予防のため、避難所にマスクや体温計、パーテーション、テント等を整備する。</p> <p>（内訳）別紙参照</p>	
【新規】 ③南伊勢町営自主運行バス感染防止対策事業（環境生活課）	22万2千円
<p>新型コロナウイルス感染症対策として、町営自主運行バスについて交通事業者が十分な感染防止策を講じることができるよう、待合所、車両等の衛生対策品を支給する。</p> <p>（内訳）感染症防止対策消耗品</p>	
【新規】 ④民生児童委員の新型コロナウイルス感染症対策事業（子育て福祉課）	112万2千円
<p>地域社会のために活動する民生児童委員・主任児童委員が、子どもたちの登下校時の見守りの際や、支援や見守りが必要な家庭に訪問する際に、マスクの着用、手指のアルコール消毒を行うことで新型コロナウイルス感染症への感染を予防し、安心して活動ができるようマスクや消毒液を購入する。</p> <p>（内訳）マスク：200枚×60名、消毒用アルコール：5本×60名</p>	
【新規】 ⑤新型コロナウイルス感染症拡大予防事業（総務課）	379万円
<p>公共事業開催時等の不特定多数の参加者の健康状態を把握し感染症拡大防止に繋げるためサーモグラフィ、貸出用の飛沫ブロッカーを整備する。</p> <p>（内訳）サーモグラフィ体温測定カメラの購入費 2台、飛沫ブロッカー</p>	

【新規】	⑥議会マスクシールド整備事業（議会事務局）	3万円
議会における感染症対策を行うことで、感染症拡大を防止する。 （内訳）マスクシールド購入費 20セット		
【追加】	⑦新型コロナウイルス感染症予防対策事業（子育て福祉課）	31万5千円
新型コロナウイルス感染症対策を啓発し、感染症拡大予防に繋げるためチラシを各戸配布する。 （内訳）印刷製本・新聞折込代 3回分		

（イ）医療提供体制の強化

【新規】	①町立病院感染症防止対策事業（町立南伊勢病院）	1,630万円
新型コロナウイルスについて、病院での感染症対策等の強化につなげるため、一般会計から病院企業会計への繰出金を支出し、感染防止対策や発熱外来の整備強化等を実施する。 （内訳）別紙参照		
【新規】	②紀勢地区広域消防組合救急体制確保事業（防災安全課）	41万1千円
新型コロナウイルスに感染した疑いのある患者を救急車にて搬送した場合、車内の除菌作業等を行うための機器を整備するため、紀勢地区広域消防組合への負担金を支出する。 （内訳）オゾンガス式除染装置 5台（総事業費：181万5千円のうち、南伊勢町負担金41万1千円）		

（ウ）学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備

【新規】	①学習保障等支援事業（教育委員会）	500万円
新型コロナウイルス感染症について、学校再開に伴う、感染症対策・学習保障に係る支援を行うため町内の小中学校での備品購入や修繕等を行う。 （内訳）消耗品費80万円、修繕費120万円、備品購入費300万円		

2. 町民等への支援策

（ア）子育て世帯への支援

【新規】	①新生児特別定額給付金（総務課）	200万円
①子育て世帯の生活支援のため特別定額給付金の基準日以降（令和2年4月28日から令和2年12月31日まで）に生まれた新生児に対して、10万円を給付する。 （内訳）給付金：10万円×20人		
【新規】	②園児に対する教材の配布事業（子育て福祉課）	80万円
新型コロナウイルス感染症予防の観点から、降園後や休日に外出を控え自宅で長時間過ごす家庭も多くなっており、園児のストレスを軽減し、自宅での生活にも楽しみを持ってもらうため園児の年齢にあった教材を配布する （内訳）教材費200名分		

3. 次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復

(ア)観光業に対する支援

【新規】	①観光業感染防止支援事業（観光商工課）	1,000万円
<p>町外からの来訪者が多い観光業での感染防止のため、南伊勢町観光協会が実施する感染防止対策への助成事業に支援を行う。</p> <p>（内訳）10万円×100件分</p>		

(ア)地域経済の活性化

【新規】	①南伊勢町プレミアム商品券事業（観光商工課）	6,885万円
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する消費を喚起し、その影響を受けている事業所等への支援策としてプレミアム付き商品券を発行する。</p> <p>（内訳）プレミアム商品券 1セット1万円分を5千円で販売（全町民約12,200人分） 事務経費</p>		
【新規】	②空き家調査事業（環境生活課）	179万1千円
<p>空き家を活用し都心部から地方への移住など、今後の地域移住の需要の取り込みと、特定空き家の除却など今後の対策に繋げるため空き家調査を実施する。</p> <p>（内訳）空き家調査委託</p>		

4. 強靱な経済構造の構築

(ア)リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速

【新規】	①庁内テレワーク環境整備事業（まちづくり推進課）	3,352万1千円
<p>職員がテレワークやWEB会議を行えるようにし、感染症予防につなげるため庁舎内のテレワーク環境を整備する。</p> <p>（内訳）テレワーク環境整備業務委託2,289万6千円、テレワーク環境回線使用料：396万円、テレワーク備品購入費（Web会議用カメラ・端末等）：666万5千円</p>		
【新規】	②南伊勢町立学校情報機器整備事業（教育委員会）	9,868万6千円
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が臨時休校や、短縮授業を行う場合の切れ目のない学習環境を提供できるようにするため町内の小中学校でのタブレット等や情報通信環境を整備する。</p> <p>（内訳）生徒用端末の1人1台整備に係る経費473台分6,243万6千円、ルーター購入費20台分44万円、町内小中学校（5校）情報通信ネットワーク環境施設整備費 3,581万円</p>		
【新規】	③介護事業所ICT導入支援事業（高齢者支援課）	195万円
<p>感染症予防対策や業務負担軽減、業務効率化に資するための介護事業所におけるオンライン面会の実現や、職員のオンライン研修活用のための機器購入やwi-fi環境整備に対し経費の一部を支援する。</p> <p>（内訳）デバイスや介護ソフト等の機器購入費、wi-fi整備するにあたり、「三重県地域医療介護総合確保基金」で補助される経費の事業所負担分の1/2以内を補助 3件分</p>		

【追加】	②介護施設の生産性向上のための介護ロボット導入支援事業（高齢者支援課）	187万5千円
<p>介護事業所で働く職員が、感染により出勤が困難となった場合でも、利用者に対して必要なサービスを提供できるようにし、施設における業務の生産性の向上を図り、職員の負担を軽減させるため、介護施設での見守りセンサーの導入について支援する。</p> <p>（内訳）見守りセンサー導入に伴う通信環境整備経費の事業所負担分の1/2以内を補助する。（187万5千円上限） 1件分</p>		

合計	3億1,062万5千円
----	-------------